

4. オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムについて

今回は大韓数学会の会員も特例として一般講演をされますので、入力データにいくつかの変更点があります。オンラインでの講演申込に慣れている方も、以下の講演申込の部分をよく読んで下さい。

アクセス先：

すべての手続きは APP サーバ URL

<https://app.mathsoc.jp/>

にアクセスして行います。そこから、必要な情報はすべてリンクされています。

基本的な流れ：

講演申込の基本的な流れは

アカウント作成 (Activation) → 講演申込 → アブストラクト投稿
の3段階になっています。すでに Activation を済ませている場合は、講演申込から始めます。

マニュアル：

APP サーバのトップページには、「*マニュアルなどの情報」の項目があり、そこにアクセスすると、詳しいマニュアルや補足説明が入手できます。ウェブ上のマニュアルは最新のシステムにほぼ準拠したものになっています。

アカウントの作成 (Activation)：

講演申込・アブストラクト投稿を含むオンラインシステムのアカウントを作成しています。このアカウントは、会員番号と Activation Key を用いて、ID とパスワードを設定することで作成します。アカウントの ID は日常よく使う電子メールアドレスとします。電子メールアドレスには、パスワード設定、講演申込の(仮)受付の通知、アブストラクト受領の通知などが送られてきます。この部分の詳しい説明を加えた Activation のためのマニュアルが APP サーバのトップから迎えます。

入会希望者には、講演申込・アブストラクト投稿のモジュールに限定したアカウントを Activation Key を用いない方法で与えますので、「5. 年会、総合分科会における一般講演について」をご覧ください。

なお、2012年6月1日(金)から有効な Activation Key 含む会員証を「数学通信」の本号に同封しています。6月1日以降に Activation をする場合は、この Activation Key を用いて下さい。Activation Key に関する問い合わせは、電子メールで member@mathsoc.jp にお送り下さい。6月22日(金)15:00 までに問い合わせが届かないと、講演申込の締め切りに間に合わないことを予め申し上げておきます。

講演申込：

この手続きは、従来の講演申込用紙をオンラインで作成することにあたります。アカウントを作成した後に、設定した ID とパスワードを用いて APP サーバ

<https://app.mathsoc.jp/>

のメニューから「講演申込・アブストラクト投稿システム」にログインしてこの手続きを始めて下さい。

なお、今回は大韓数学会の会員も特例として一般講演をされますので、いくつか入力項目に変更があります。英文の学会プログラムと英文サマリー集を通常の学会プログラムと同時に作成するのが主な目的です。

- (i) 共同発表者を含めて氏名を略さずに、欧文で **First Name, Family Name** の順に **Friedrich Gauss** のように入力をお願いします。従来の和文の氏名も入力をお願いします（もし共同発表者に和文の氏名がない場合は、英文氏名だけの入力で大丈夫です）。
- (ii) 所属については通常の和文略称を入力ください（欧文の大学名、研究所名を **WG** がプログラムの編集段階で入力します）。
- (iii) 講演題目のために「和文」、「欧文」と2個のボックスが用意されていますが、その区分については十分にご注意下さい。
通常の学会プログラムに掲載する講演題目が欧文の場合は、「欧文」のボックスだけに講演題目を入力して下さい。
通常の学会プログラムに掲載する講演題目が和文を含む場合は、「和文」のボックスにこの講演題目を入力し、さらにその欧文訳を「欧文」のボックスに入力して下さい。「欧文」のボックスに入力された講演題目を英文プログラムに用います。
- (iv) 通常のアブストラクトに加えて英文サマリー（120words（8行）程度が上限）を講演申込のときにオンライン上で入力をお願いいたします。この英文サマリーを用いて、全体の英文サマリー集を作成して配布します。また、英文サマリーは学会プログラム最終版の公開と同時に開催情報のページからオンライン上公開する予定です。

アブストラクト投稿：

次の段階に進んでアブストラクトの PDF ファイルをアップロードします。分科会によって制限されたページ数のチェックも行います。講演申込およびそれに続くアブストラクト投稿を **6月24日（日）23時59分**までに済ませて下さい。今回から、統計数学分科会のアブストラクト投稿が講演申込と同時に締め切られることになりました。このことに十分ご注意ください。

重要な注意：

実際に登壇して発表することを口頭発表と呼びます。自分のすべての口頭発表について会員番号を入力して下さい（共同発表者が講演申込をする場合にも、口頭発表者の会員番号を入力して下さい）。プログラム編成のときは、口頭発表者の会員番号をキーとして、データの整理を行います。

講演題目の数式・異体字：

講演題目の数式は **TEX** で記述します。その制限事項などについては、マニュアルに記述してあります。また、講演者名や講演題目に異体字を使うことができます。上で説明した APP サーバー上のメニュー「*マニュアルなどの情報」からその説明がたどれます。

問い合わせ先： オンラインシステムに関する問い合わせは

inquiry.mgate@mathsoc.jp

までお願いします。

講演申込のときによくあるミス 共同発表者の記入漏れ

名古屋大学で開催しました2010年度秋季総合分科会からオンラインシステムによる講演申込を導入しました。今回が5回目のシステム運用になりますが、今まで最も多いトラブルは、共同発表者の記入漏れです。実際、アブストラクトにある共同発表者名がプログラムにないケースが毎回散見されます。

ここでは、オンラインシステムで発表者の欄を増やす方法について説明しておきます。下図の右端（「次へ」のボタンの上）にあるプラスのボタンを押すと共同発表者の欄が増えますので、共同発表者の記入漏れがないようお願いします。

口頭発表	講演者情報		
●	氏名	和文 <input type="text" value="数学 太郎"/> 欧文 <input type="text" value="Taro Sugaku"/> ※和文氏名は氏と名の間に空白1文字を入れてください。 ※欧文氏名は「First Name Family Name (Last Name)」の順で省略のないフルネームで入力してください。 ※アクセント記号をLaTeX形式で入力することができます。	
	所属	<input type="text" value="東大数理"/> <input type="button" value="🗑️"/> <input type="button" value="➕"/>	
	会員番号	6984 ※日本数学会への入会申請中の方は、事務局から送付された仮会員番号を入力してください。	<input type="button" value="✖️"/>
	メールアドレス	nobutose@gmail.com ※ログインIDを持たない共同講演者についても、メールアドレスを記入すれば連絡メールが届きます。	<input type="button" value="➕"/>
<input type="button" value="新規申込をキャンセル"/>		<input type="button" value="次へ"/>	